



農家が市に 土地を寄付

特養ホームや 農園で活用を



宮久保6丁目23番地の寄付された土地
梨の木が切られて空き地の状態になっている



寄付しました
宮久保6丁目

農家の方から「高齢でもう農業を継続できない。後継者もない」と、昨年私に相談がありました。

話し合った結果「特養ホーム建設用地や市民農園として、市民のために役立てほしい」という要望書を添えて

私は6月市議会の一般質問で、土地の評価額や今後の活用のあり方について問いました。管財部長は「面積は2カ所で13100㎡、評価額は約7億円にな

1万3100㎡ 宮久保など2カ所

目（下貝塚中近く）、下貝塚2丁目の2カ所の梨畑のまとまった土地で、金子貞作が紹介議員となりました。

「7億円の価値、感謝している」
「意向を踏まえ活用を決定する」
今後の活用について、「特養や市民農園という寄付者の意向を踏まえ、時間をかけ有効活用を決定していく」と述べました。

福祉部長は「特養ホーム整備にあたっては、既存道路の幅員6m以上に接していることなど、の制約もある。今後関係部署と協議していく」と答弁しました。

寄付者も「特養ホーム待機者ゼロをめざす会」の運動に賛同し、自分の土地を活用してほしいと願っています。特養建設用地は約3千㎡必要です。残り（1万㎡土地）は、市が市民の意向も伺いながら、市民農園として整備する予定です。

これまで市が寄付を受けた 主な土地・建物

- ・平成4年、精華園（土地1700㎡）
 - ・平成10年、旧片桐邸（1100㎡）
 - ・平成10年、国府台4丁目緑地の3100㎡
 - ・平成13年、吉澤ガーデンギャラリー（3400㎡）
 - ・平成14年、大町緑地の2600㎡
 - ・平成15年、水木邸（850㎡）
 - ・平成22年、姥山緑地の3,100㎡
 - ・平成24年、13,100㎡の梨畑
- 申し出があった寄付は、例えば接道、安全性、

「市民まちづくり債 の見直しを検討」

市川市民まちづくり債は、公共事業を推進するに必要な資金調達と、市民が市政に参画するメリットがあると平成17年度から導入。市民は国債や預金より利回りのよさから昨年度は、市の発行額5億円に対し、548人、10億円の応募。しかし、財政が厳しいと強調する中で、費用対効果に疑問の声も…。私は、6月市議会の一般質問で、市民まちづくり債の今後のあり方を問いました。財政部長は「金利低下で市が直接金融機関から借りた方が安いことや手数料（430万円）がかかるなどから、継続か、廃止が見直しを検討する」と答弁。



若者も高齢者も 安心してできる社会保障へ 日本共産党

「商品」でもありません。憲法25条に保障された国民の権利です。日本共産党は、危機にひんしている社会保障を再生・充実させます。

医療

窓口負担は、子どもゼロ、現役2割、高齢者1割に
後期高齢者医療制度の廃止
国保料（税）の軽減
診療報酬の引き上げ、
医師・看護師の抜本的増員

介護

軽度者からのサービス取
り上げをやめる
利用料・保険料負担の減免
特養ホームの増設、待機者
ゼロに

年金

年金削減政策を中止
低年金の支給額を底
上げ
最低保障年金の創設



日本共産党が参議院政策を発表。写真は概要版です。ご連絡いただければお届けします。

くらしも経済も破
壊する消費税の中止。
富裕層優遇の不公
平税制を見直し、応
分の負担を。新たな
法人税減税をやめ、
大企業に特別に有利
な減税制度を改める。
賃上げをはじめ国
民の所得を増やす政
策で「デフレ不況」

日本共産党の財政再建策

を打開。日本経
済を健全な成長
の軌道にのせ、
税収増を図る
大型開発や軍
事費、原発推進
予算、政党助成
金など、歳出の
浪費に
メスを
入れる

6月市議会で日本共産党 が提出した意見書

「共通番号制（マイナンバー）」
法の廃止を求める意見書は、8
人の賛成少数で否決。
人間らしい労働を奪う規制緩
和をやめるよう求める意見書は、
10人の賛成少数で否決。
憲法96条の改定に反対する意
見書は、12名の賛成少数で否決
となりました。
なお、反対した意見書は2件。
新庁舎建設に関する要請決議
子宮頸がんワクチンの接種事
業の中止等を求める意見書です。



わが家の前にある斜面林は、春に桜、現在はアジサイが咲き、市川大野駅に通勤する人や散歩する人を癒しています。市は、斜面林を住民の協力も得て公園的な整備を検討しています（大野町3丁目）

編集後記

この参院選から「インターネット」が解禁されます。そこで私もブログを始めることにしました。日々のつづきやきなどを載せていきます。日本共産党市川市議団を検索し、私の写真をクリックするとブログを見ることが出来ます。今議会、市長が次期出馬を表明しました。また、議員が所属している常任委員会の変更があり、私は総務常任委員会の所属に。私が副委員長に当選する議会の変化もありました。

仕事
くらしの
悩み

お気軽に
相談を

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)